

こんにちは

Good afternoon

नमस्ते

Magandang tanghali po

(AM11:00~12:00)

Magandang hapon po

(PM 0:00~6:00)

グッド・アフタヌーン (英語)

ナマステ (ネパール語)

マガンダ・タンハリポ (タガログ語)

マガンダ・ハボン・ポ

PHD LETTER

No. 3 発行 57年 8月 31日

編集発行 PHD財団・PHD協会

〒650 神戸市中央区元町通 5-2-3

甲南サンシティ元町ビル

電話 神戸 078-351-4892

郵便振替 神戸 9-23625 PHD基金事務局

定価100円 印刷所 マルニ出版印刷

PHD運動とは

PHD運動とは昭和37年(1962)より約20年間、ネパール、東南アジアを中心とした発展途上国で医療活動に従事された岩村昇博士によって提唱された国際ボランティア運動であります。これまで自分のためにだけ使っていた時間、技能、財などの10パーセントを献げて、平和づくり(Peace)健康づくり(Health)を担う人材をつくる(Human Development)運動を世界中にひろめることを目的として昭和56年(1981)からはじめられました。

集団生活研修 (1982)

集団生活研修は丹波農文塾を1月間借用して、PHD財団・PHD協会の主催で行います。今号はこの集団生活研修とPHD研修(第1期生)の紹介を特集いたしました。

(2ページに研修生紹介)

集団生活研修の目的:物の多すぎる日本、刺激過多の日本、豊かさになれなかった日本人、日常生活を見わたしていつも感じることで、このことを全て否定するわけではありませんが、今のアジアに、そして日本にはこれまでの文化、知恵、技術の中に、生活体験から生みだされた尊い遺産があるのです。健康づくりをとりあげても、薬や近代医学にたよらなくても日常生活の創意と工夫によってできるものもあります。また、資源エネルギーの活用にしても、手づくりのものを活用することによって、大切な資源を節約することもできます。

集団生活研修ではPHDの基礎学習と、参加する研修生全員が脱文明生活経験を通じて、これまでの自分の生活をふり返り、あわせて研修生同士の相互理解を深めることを目的とします。

期間:昭和57年9月3日(金)~30日(木)

(1) 月間スケジュール

9月3日(金)~5日(日)の3日間はオリエンテーションと研修準備

9月6日(月)~26日(日)までの3週間は脱文明と外部刺激を断った中で、研修生と指導講師とが一体となって体験学習をいたします。

(2) 1日のスケジュール

(時)	0600	0900	1100	1400	1600	1900	2100	2200
	起床 朝食準備 朝食片づけ	午前 の 研 修	昼食準備 昼食片づけ	午後 の 研 修	夕食準備 夕食片づけ	研修又は レクリエ ーション	就寝準備	就寝

脱文明生活を貴方様の御家庭でも!!

岩村昇

岩村は、ネパール及びアジア生活20年間に、多くのことを学ばせていただきました。その一つは脱文明生活の豊かです。ネパール初期10年間は、電気無し、水道無しでなく、電話無し、ラジオ無し、勿論テレビ無し、おまけに新聞も無し、あるのは時間、特に人と人との対話の時間がたっぷりあります。その結果之は金では買えない豊かな人間関係です。ネパール以外のアジアにも、脱文明の中で生きて暮らす者の根っ子達の中に豊かさを人間関係で見つけました。

日本は此のままでほろひます!! 生活が余りにも便利になり過ぎ、毎日の生活で暮らす夜が明け、日が過ぎて行くかと思えてアッというやうですが、此は明らかに非現実な迷信であります!! 更には、人は独りでは生きて行けない、お互いに助け合つて生きていかに道は無いが、此の宇宙船地球号の真実なことです!!

その真実を貴方様のものにしていただくことが出来ます。一週間に一時間でもいい、貴方様の御家庭で脱文明生活を体験して下さい!! 一時間が難しければ三十分でも十分でも、先づ電灯を消し、テレビもラジオも止せ、新聞も置いて「なほよ Peace、おまけに Health、なほよ Development」とつがいで下さい、その先は貴方様次第です!!

貴方様が余裕が下つた時、今年は友人のアジアPHD研修生が日本に帰って来ました。日本研修生として9月3日から30日迄、兵庫県多紀郡淡島町の農文塾で集団生活スケジュールに入ります。ネパールの2人も、フィリピンの2人も、しよに基つた此が初めての経験です。10年も夫々に暮らした友人が、平和と健康をつくる人材になりました。岩村は此のPHD研修生に、日本の脱文明生活2週間の処方箋を渡しました。友人間に豊かさを友情が生まれるようお祈り下さい。貴方様もその友情の輪に加わっていただくよう祈らせていただきます。

研修の内容

- なぜPHD運動がはじまったか
- PHDとはなにか
- アジアの文化
- 日本の文化
- 有機農法
- 薬草の活用
- 衣食住生活をふりかえる
- 兵庫と丹波
- 風力・水力発電の原理
- やさしい電気工作
- 生活用水
- 農漁業の小規模経営法
- 音楽、茶道、華道、武道
- 日常生活の創意工夫等

以上の項目について実習を中心とした研修を岩村昇先生、PHD財団・PHD協会関係者及び兵庫県内外からの指導講師によって行う予定です。なお、この集団生活研修の全期間中、西沢忠秋先生が農文塾で研修生と寝食を共にしてご指導くださることになっております。



① MR. BIRENDRA BAHADUR AMATYA

ビレンドラ バハドゥール アマッティア

- ② アマッティアさん
- ③ ネパール
- ④ 25才
- ⑤ 結核予防協会指導員

- ⑥ 両親と弟・妹各1人
- ⑦ 卓球、バドミントン
- ⑧ 近代農業（特に野菜の栽培）
公衆衛生と上水道
- ⑨ 2週間の滞在で多くの事を学びました。神戸はとてもよい所で又、美しい街です。
日本人たちは親切で、互いに気を配り、助け合っていると感じます。
- ⑩ 私の国ネパールにはいろんな種類の文化があります。人々の多くはヒンズー教徒で、仏教徒はわずかです。多くのカーストがあります。私達は家族の長老を尊敬しています。

- ① 名前
- ② 呼び方
- ③ 国籍
- ④ 年齢
- ⑤ 職業
- ⑥ 家族構成
- ⑦ 趣味
- ⑧ 日本での研修内容
- ⑨ 日本の印象
- ⑩ 自国の紹介

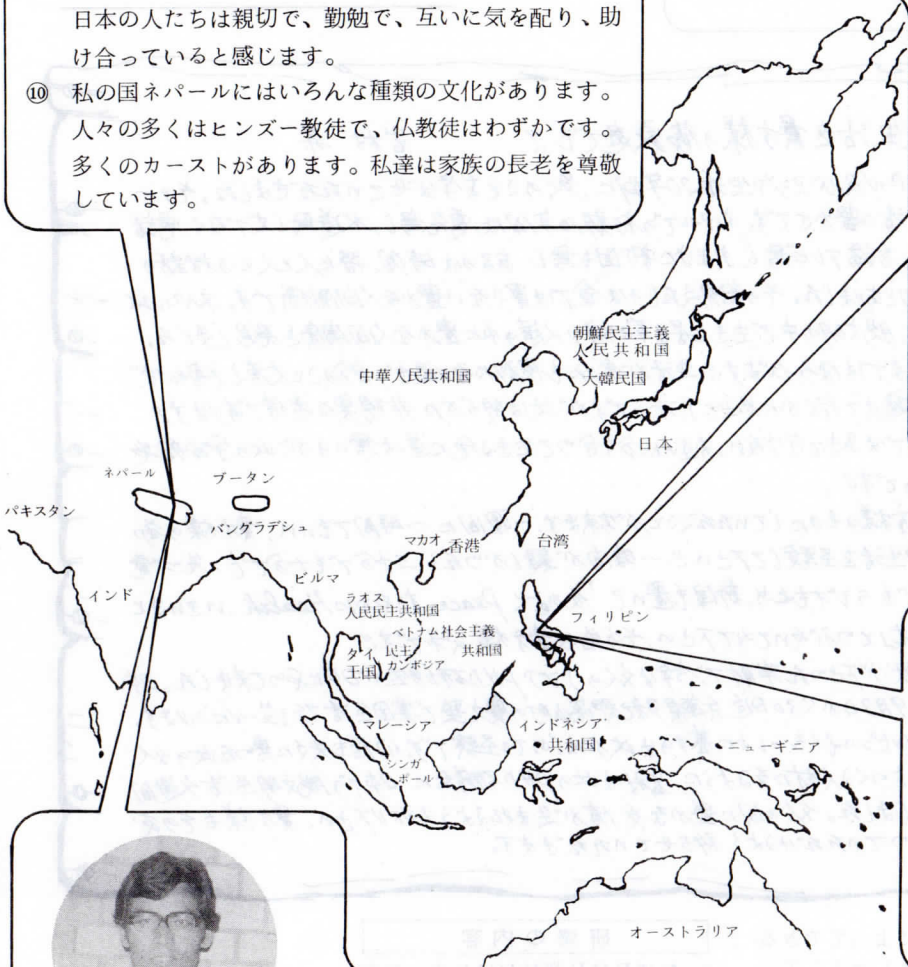


① MR. CONRADO SANTOS

PANISALES

コンラド サントス パニサレス

- ② パニサレスさん または ラディンさん
- ③ フィリピン
- ④ 50才
- ⑤ 漁業
- ⑥ 妻、息子4人、娘4人
- ⑦ バスケットボール、卓球、ダンス
- ⑧ 淡水海老の養殖と経営
- ⑨ この国は良い国だと思います。人々は親切ですし、温かくもてなしてくれています。この滞りが実りあるように、又忘れがたい思い出になる様に願っています。
- ⑩ 我国は日本との友好な外交関係をもつ発展途上国です。我国はカトリック教で80%はクリスチャン、20%はプロテスタントかもしくはイスラム教徒です。



① MR. BHARAT BISTA

バラト ビスタ

- ② ビスタさん
- ③ ネパール
- ④ 31才
- ⑤ 家族計画協会指導員
- ⑥ 父、妻、息子、弟、妻の母、甥2人、姪1人
- ⑦ ソーシャル・ワークのボランティア
- ⑧ 近代農業
- ⑨ 私の国と多くの違いがあり、びっくりしています。うどんやラーメンを食べました。おいしいけれどハシの使い方がむずかしいです。また、日本の食べ物は栄養たっぷりと感じます。
私の国では家庭内のつながりは深いのですが、他人になるともうひとつです。しかし日本人は他人に対しても友好的だと思います。
- ⑩ ネパールにはいくつもの言葉があります。たとえばネワール語、チベット語、タマン語など他にもいろいろです。また進歩的で好ましい考え方、やり方に対して保守的なところがあり、仕事の上で苦労があります。



① MR. MANOLITO VALDEZ ROSANA

マノリト ヴァルデス ロザーナ

- ② ロザーナさん または リトさん
- ③ フィリピン
- ④ 27才
- ⑤ 農業
- ⑥ 母、弟1人、妹4人
- ⑦ バスケットボール、卓球、読書
- ⑧ 米と野菜を中心とした農業
- ⑨ 日本の良い所で、神戸はコンテナ港として世界最大の港とききました。
日本人は、親切で、やさしくしてくれます。気候条件は良いし、上水道設備もあります。
私の日本での滞りが実り多いものであり、思い出多いものである様願っています。そして私が日本で習ったこれ等の事を自分の村に帰って分かちたいと思います。
- ⑩ 我国は、今まさに発展途上中で、違った文化、伝統、習慣があります。
私の村では、いろんな宗教があり、ローマン・カトリック教徒70%、バプティスト20%その他が10%です。フィリピンではパーティにバロング・タガログというのを着ます。